

はじめに

本校では一昨年度（H21年度）から「『言語活動の充実と道徳教育の推進』～新学習指導要領の実践に向けて～」を主題にかかげて研究を進めてまいりました。

今年は3年目でまとめの年としました。目標と実践についての詳しい内容は本文に記してありますが、特徴を「各教科にある言語活動や道徳教育の要素を見つけ出し整理して、全体で交流してきた成果を踏まえ、言語活動では『説明』に焦点化し、道徳教育では『道徳の授業』に生かすことを目指した」と言うことができるでしょう。

公開授業でその方向性と実践例を提案して、広く本校以外の皆さまのご意見をいただきながら進めることができました。また専門の講師、教育学部の教授からも助言と指導をいただきました。秋の研究協議会には多数のご参加をいただき、ワークショップ形式で貴重なご意見をいただきました。

校内では、研究主題をどう活かしていくかを意識し、ひきつづき各教科中心に議論して掘り下げ、授業で検証し、それを全体に持ち寄って深める、ということをしてきました。

その結果、従来からの「協同学習の定着」「情報機器を使った教育（IT）」の成果とも響き合って、生徒たちはプレゼン能力やリーダーシップの面で周囲の評価を受ける生徒が多くなり、学力向上、学び方の定着、豊かな人間性への反省が育ってきているという成果がありました。

本校では今後も、基礎基本を重視しつつ意欲的に先導的な研究を続けて、地域に発信していく所存ですし、ひいては全国にも及ぼすことができればと考えます。この冊子にお目通しくださり、貴重なご意見をいただければ幸いと存じます。

平成24年3月

学校長 柏原 卓